

# Rhino 8



new function

<https://www.applicraft.com>

## 製品概要

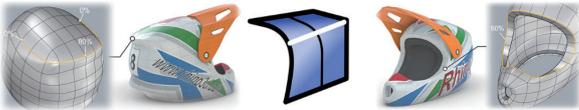
Rhino 8 は、Windows、Mac 上で動作する NURBS による 3 次元モデリングツールです。Rhino 8 は、滑らかな NURBS カーブやサーフェスを利用することにより、アイデア・イメージを損なうことなく、直感的に表現力豊かな 3 次元モデルを具現化することができます。また Rhino 8 は、精度上の制約条件がありません。建築、航空機といった分野から医療機器といった精密機器分野までご利用いただけます。更に Rhino 8 のもう一つの特徴として豊富なデータフォーマットサポートがあります。DXF、DWG はもちろん、IGES や STEP フォーマットもサポートしており、Rhino 8 を通してクライアントの持つ様々な CAD とのデータ交換が可能です。

## ShrinkWrap



ShrinkWrap は、メッシュ、NURBS ジオメトリ、SubD、点群など、さまざまな形状の周りにぴったりと閉じたメッシュを簡単に作成できます。特に、リバースエンジニアリングの際に点群データからメッシュを生成する場合に非常に便利です。また、3D プリント向けのメッシュを生成する際や、シェル化するためにオフセットメッシュを作成する際にも使用できます。

## SubD のクリース



機能が向上した SubD のクリースを使用することで、モデル内の特定のエッジや点に重み付けを行うことができます。これにより、シャープなエッジと滑らかな曲面が組み合わさり、デザインに繊細なディテールを追加することが可能です。クリースを駆使することで、美しいデザインを簡単に実現でき、プロジェクトの品質を向上させることができます。

## モデリングの簡素化



Rhino 8 のプッシュブル機能は、面を挿んで引っ張ったり押しやすくなることで、面の編集が簡単に行えます。さらに、強化されたガムボール機能を活用すると、オブジェクトを選択し、ドラッグするだけで、デザインの微調整が簡単に行えます。また、Rhino 8 は自動作業平面を導入しており、特定の作業平面を手動で設定する手間が不要になりました。

## ユーザーインターフェイス



Rhino 8 の UI は、ウィンドウレイアウト機能が導入され、ユーザーは自分の作業スタイルや好みに合わせて UI を調整できます。ウィンドウレイアウトを使用することで、特定のタスクに最適化された UI レイアウトを簡単に作成し、それを保存して後で再利用することも可能です。また、レンダリング UI も効率的に改善されています。

## 開発プラットフォーム



Windows と MacOS 上の Rhino および Grasshopper で動作するデバッグ機能のある統合されたスクリプトエディタが開発されました。このエディタは Python3 系に対応しており、現在主流の Python3 系の科学技術計算ライブラリも使用できます。また Windows と Mac 共通で .Net7 に対応する、データのインポート・エクスポートをヘッドレスで行うなど開発者向けの機能改善も多く含まれています。ワークフローに合わせて Rhino をカスタマイズおよび拡張することが可能です。

## Mac 版の大幅改善



Mac 版 Rhino は、Apple Silicon と Intel Mac の両方でネイティブに動作し、Apple Metal のディスプレイテクノロジーを使用することで、今までになく高速になりました。Rhino8 では、Mac のユーザーインターフェイスを Windows のユーザーインターフェイスにより近づけるための改良も施され、ユーザーエクスペリエンスが向上しました。

## プレゼンテーション



Rhino 8 は、最新の Cycles エンジンを搭載し美しいイメージを素早く作成します。UV のワークフローもスムーズになり、テクスチャの配置やマッピングが向上し、プロシージャルテクスチャも改善されています。さらに、新しい表示モードのモノクロの追加により、デザイナーはプロジェクトの詳細を確認し、デザインプロセスを効果的に進めることができます。

## Rhino をより便利に



Rhino 8 は、新しい線種の追加、メッシュのプールの演算の改善など多くの新機能と改善を提供します。新しい線種はモデリングの多様性を増し、複雑なデザインの表現を容易にします。メッシュのプール演算の改善により、複数のメッシュを効果的に操作でき、精度と効率が向上します。これらの新機能と改善点により、効率的な 3D モデリングを可能にします。

## Grasshopper



Rhino 8 では Grasshopper から Rhino 上のテキストや注釈、ブロックなどにもアクセスできるようになりました。これを活用することで、カスタム属性を使用してジオメトリをベイク処理したり、さまざまなファイル形式をインポートしたり、ハッチングや注釈を簡単に作成できます。データタイプの使用により、設計プロセスを効率化し、カスタマイズされた作業フローを構築することができます。

## 動作環境

- Windows
  - ハードウェア
    - 64ビットの Intel または AMD プロセッサ (ARM はサポートしていません)
    - 8GB のメモリ (RAM) またはそれ以上を推奨
    - 5GB ディスク空き容量
    - OpenGL 4.1 対応のグラフィックスボードを推奨 (4GB の VRAM を推奨)
    - スクロールホイールのある複数ボタンのマウスを推奨
    - 対応 OS : Windows 10 または 11
- Mac
  - ハードウェア
    - Intel または Apple のプロセッサ搭載の Mac
    - 8GB のメモリ (RAM) またはそれ以上を推奨
    - 10GB ディスク空き容量
    - スクロールホイールのある複数ボタンのマウスを推奨
    - 対応 OS : macOS 12.4 (Monterey)、13 (Ventura)

<開発元>

Robert McNeel & Associates

<日本総販売元>

株式会社アプリア Craft  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-13-8 山野代々木ビル4F  
TEL 03-6825-8431 FAX 03-6825-8432  
https://www.appliacraft.com

AppliCraft

◎製品のお買い求め先は